

第 5 回舟着地域協議会 会議録		公 開 ・ 非公開	
日時	令和 7 年 8 月 7 日（木） 午後 7 時 0 0 分～午後 8 時 2 5 分	場所	鳥原児童館 1 階 会議室
出席者	（委員） 荒川浩幸、河口利幸、鈴木 仁、加藤春夫、山口和夫、古田 忍、 豊田幸応、山下健次、原 達也、樋口義治、廣瀬秀雄、柿田文恵、 飛安章智、森 勝哉、櫻井利昭、池田嘉子、清水幸代		
	（事務局）服部所長、後藤主任		
欠席者	0 人	傍聴者	1 人
議題・議事・ 発言等	1 開会 2 報告 令和 7 年度地域自治区予算事業における実施内容の検討状況 ● 舟着茶話会事業 ● 舟着の魅力発見事業 ● ネットワークづくり事業 3 議事 令和 8 年度地域自治区予算の事業検討 4 その他 次回の舟着地域協議会について 5 閉会		

1 開会

（会長）

半数以上の委員が出席しているため、新城市地域自治区条例第 8 条第 3 項の規定を満たしており、会議が成立していることを報告した。

今回の会議録署名人は原達也委員と樋口義治委員となることを報告した。

2 報告

令和 7 年度地域自治区予算事業における実施内容の検討状況を各グループが発表をした。

舟着茶話会グループ

委員	舟着小学校が近々複式学級になります。これに伴う空き教室を検討したらどうかという流れになりました。先日、市が主催した「地域の公共施設に関するワークショップ（「ほしい未来は、自分でつくる。」）で学校の活用方法ということで良いアイデアがあると聞きました。コミュニティセンターとしての活用、高齢者が集える場、そしてカラオケルーム等です。 舟着小学校をコミュニティの中で活用していく方法は何があるのかをテーマとして決めました。これが現実するかどうかは、教育委員会の許可等もありますが、舟着小学校の将来的な活用方法について話すことになりました。
----	---

舟着の魅力発見グループ

委員	松山越えの散策をする際、登山者が迷わないようにマーキングや看板の確認・保守をしていきます。 舟着の魅力発見事業とは異なりますが、舟着地域は少子高齢化が進行しています。そうすると高齢者へのサポートが必須となってきます。そこで、各区長さんをお願いをして①週2回のごみ出し②月1回の資源回収の状況調査を今後していきたいと思っています。ターゲットは80歳以上や独居世帯、2人世帯等です。調査項目は、事務局と相談したいと考えています。
----	--

ネットワークづくりグループ

委員	現在決定していることは、こども園園児と地元との交流事業で、今年度は市川区と交流することが決まっています。開催日は例年通り12月を想定しています。 もう一つの行事内容は決定していませんが、料理教室や体を動かすイベント、草刈機講習などを想定しています。
----	--

3 議事

事業提案に対して第4回までの舟着地域協議会での意見や事務局が所管課等から聞き取りした内容を整理した資料を説明し、令和8年度事業について協議を行った。

委員	「井戸端会議の会」の件です。 <u>資料1</u> で「井戸端会議の会」に予算1万円とあります。今までは会議体として動いてきましたが、来年度からは活動団体として動いていきたいと思っています。未だ確定はしていませんが、マルシェなどをやれたらと思っています。
事務局	今、この自治区予算を使って話し合いをする機会が少なくなっています。どちらかと言うと活動団体色が強くなってきています。「井戸端会議の会」は今までの会議体から活動団体になり、さらに前回の会議で話が出たごみ出しや草刈りの内容を新規事業として考え、 <u>資料1</u> で記載されている内容を2つに分離して考えるといことで良いでしょうか。
委員	そうです。「井戸端会議の会」として会議費用1万円は、次年度以降は不要かと思っています。今後は地域活動交付金の利用を考えています。
事務局 委員	そうすると、自治区予算に計上しない方が良いですか。その方が良いと思います。一つだけ懸念点があります。「ご近所サポート事業」がこれにより消えると今まではなんだったのと思われないうことです。
事務局	消えることについては問題がないです。自治区予算は地域課題を解決することです。消えるということは達成されたことになりますので、問題がありません。消える方が良いことです。
委員	「井戸端会議の会」は茶話会からの延長で発足した会です。公でサポートをしていくと、限界があります。そこで、「井戸端会議の会」を立ち上げ、自由に活動できるようにしました。今まで「オニヤン

委員	マ作り」などをしてきました。実質的には活動団体となっています。その団体は、独立している団体なのか、付属している団体なのか、整理しておいた方が良いでしょう。
委員	今までは地域自治区予算と関係していましたので、付属団体でした。しかし、これからは個人へのサポートに踏み込んでいきたい考えがありますので独立団体にしていきたいです。サポート対象を舟着に限定するのであれば、活動交付金も利用したいと考えています。
委員	活動交付金は収益性のあるものはできませんので、収益が見込まれるものを実施する場合には、活動交付金は利用しないようにしたいと考えています。
委員	規約の作成など、大変なこともあります。まずはチャレンジすることが大切だと思いますので、ぜひ頑張ってください。

委員	地域の方から、地域で空き家のことを本格的に考える人やリーダ的な人を育てた方が良くはないかという意見をもらいました。まずは、これについての話し合いをする場を求めておりました。
委員	豊田市旭地区だったと思いますが、その事例が今回については参考になると思いました。
委員	話し合いの場を設けることですが、まずは、組→区→区長会の順で進められたらと思います。
委員	先日、地域の農業集落排水に新たな家が接続しようとした際、少し問題がありました。結果的には、これからは市役所と情報共有していくことで課題は解決できましたが、この地域特有の事情があります。様々な事情を移住者に情報共有できると良いと感じました。
委員	本来、事前に知らせるべき情報が落ちていると、時には賠償というケースに陥る可能性があるのでは、そこはしっかりと伝えるべきかと思ひます。
事務局	パンフレットの付属資料として作成していきます。

委員	地域を創るためには、まずは人を育てることだと思っています。活力ある方々がいて、地域は元気になっていきます。
事務局	そこで人材育成講習会をできたら、とても良いきっかけになると思ひました。
事務局	次回までに積算させていただきます。

4 その他

会長から第6回舟着地域協議会は、9月4日（木）午後7時00分から鳥原児童館で開催することを報告した。

5 閉会

会長から第5回舟着地域協議会の中で全体を通して意見や質問がないか確認した。

（配布資料）

次第、令和8年度舟着地域自治区予算事業計画案仮積算資料、パンフレットのイメージなど、新城市公式ホームページの検索結果とイメージ、屋外テーブル・ベンチのイメージ、舟着地区の子どもの人数、児童の読書週間に関するアンケート調査、ウォータークーラ設置のイメージ